第4章 資料編

横浜市の関連計画の概要

- 横浜市中期計画では、「明日をひらく都市」を共に目指す都市像とし、「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を基本戦略として 掲げています。本ビジョンもこの基本戦略に沿ったものとして、子育てや次世代を強く意識しています。
- 公共施設の保全・運営の適正化、規模の効率化が目指されている中、図書館についても他の施設との複合化が求められています。社会教育施設である図書館と他の施設の複合化にあたっては、地域での交流や社会参加を促進する環境づくりに加えて、市民の学びの環境の充実、子育て世代をはじめとした市民の居心地のよい場づくりが期待されています。また、図書館と区役所や地区センター、コミュニティハウス等の市民利用施設の連携によって、地域における読書活動の推進を目指しています。
- 市として公民連携を推進する方針が示される中、今後連携対象は地域団体、企業等にも拡大していくことが考えられます。
- デジタル技術の活用推進による手続のオンライン化や情報アクセスの向上が更に求められています。また、図書取次所や移動図書館の充実による身近な場所での図書館サービスの提供といった物理的な利便性の向上も進めます。

種別	方針・計画等の名称	策定年月等
	横浜市中期計画 2022~2025	令和4年12月
	横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン	令和4年6月
市の方針等	行政運営の基本方針	令和5年1月
	横浜DX戦略	令和4年9月
	横浜市公共施設等総合管理計画	令和4年12月
	横浜教育ビジョン2030	平成30年2月
教育に関する方針・計画	第4期横浜市教育振興基本計画	令和5年2月
	第32期横浜市社会教育委員会議提言	令和2年11月
	第二次横浜市民読書活動推進計画	令和元年12月
	司書職人材育成計画(改訂版)	令和元年5月改訂
読書活動・図書館等に関する方針・計画等	横浜市立図書館資料収集方針	平成元年3月
	横浜市立図書館資料収集基準	令和4年4月一部改正
	第33期横浜市社会教育委員会議提言	令和5年2月

横浜市の財政状況

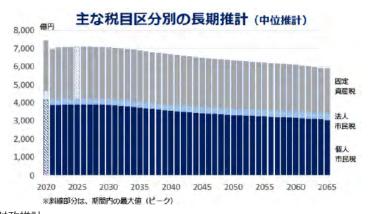
- 歳入総額は減少するのに対し、歳出総額は増加することが予測されています。税収のほとんどは個人市民税・固定資産税が占めており、個人市民税は2065年までに年度平均約21億円ずつ減少、法人市民税・固定資産税は微減していくことが予想されています。
- 図書館の整備及び運営において、費用対効果の高い取組が必要です。

■歳入·歳出総額長期推計





■税収の長期推計



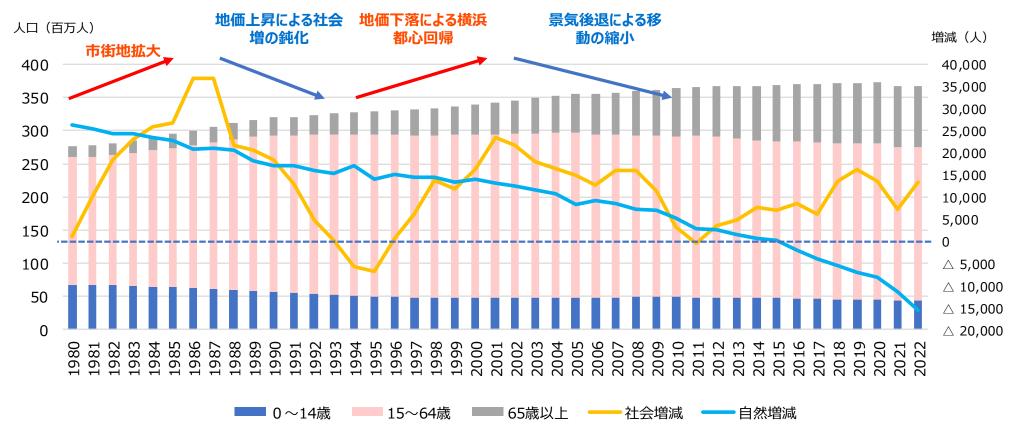
対前年度増減額推計 (単

		区分(15年	区分(15年ごと)平均増減額/年度				
		2021-2035	2036-2050	2051-2065	2021-2065		
	高位	▲ 28.1	▲ 24.3	▲ 10.8	▲ 21,1		
個人市民税	中位	▲ 29.0	▲ 27.3	▲ 18.1	▲ 24,8		
	低位	▲ 29.9	▲ 30.2	▲ 24.9	▲ 28.3		
	高位	▲ 10.3	1.2	1.3	▲ 2.6		
法人市民税	中位	▲ 10.3	1.2	1.3	▲ 2.6		
7	低位	▲ 10.3	1.2	1.3	▲ 2.6		
1000	高位	4.2	▲ 6.4	▲ 8.9	▲ 3.7		
固定資産税	中位	3.2	▲ 9.9	▲ 13.3	▲ 6.7		
Market 1	低位	2.1	▲ 13.2	▲ 17.4	▲ 9.5		

出所:横浜市の長期財政推計

横浜市の人口動態

- 人口の自然減少が進んでおり、長期的には人口減少が進むことが予想されます。令和3(2021)年度に実施された人口推計では、2040年時点の人口は361.5万人~365.0万人と予想されています。
- 23区以外の東京都の自治体への転出のほか、湘南地区、県央地区、相模原市への転出が目立ちます。特に、県内の転出が近年増加傾向 にあります。
- 川崎市、相模原市、藤沢市は人口が増加しており、図書館のあり方を検討する際も、横浜市の都市としての魅力向上にどのように貢献できる か検討する必要があります。



出所:横浜市統計情報ポータル「令和4年中の人口動態と令和5年1月1日現在の年齢別人口」

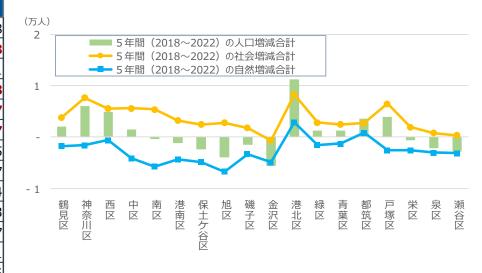
区ごとの状況

- 人口構成、人口動態において区ごとに地域差が見られます。特に、都心に近い北部の地域と、南部・西部の地域で差が見られ、北部では人口増加しているのに対し、南部では人口減少・高齢化の傾向にあります。
- 区ごとに抱えている課題や可能性は異なるため、地域の特性や地域課題に応じた図書館サービスを開発し提供することが望ましいと考えます。

■各区の人口とその構成

割合 (%) 人口 行政区 0~14歳 15~64歳 65歳以上 (人) 外国人 (年少人口) (生産年齢人口) (老年人口) 3,769,595 総数 25.3 2.8 11.6 63.1 鶴見区 4.8 294,981 12.3 21.5 66.2 神奈川区 248,878 21.9 3.1 11.0 67.0 西区 105,634 4.8 10.9 69.8 19.4 中区 151,031 10.7 9.9 66.1 24.0 南区 197,430 5.7 9.6 63.4 27.0 港南区 214,312 11.0 59.7 29.4 1.5 保土ケ谷区 205,852 10.6 2.7 62.4 27.0 旭区 242,382 11.2 58.5 1.4 30.4 磯子区 165,450 3.3 11.6 59.9 28.5 金沢区 195,892 58.6 1.7 10.5 30.9 港北区 362,084 2.1 67.7 19.9 12.4 182,790 緑区 25.2 2.6 12.4 62.4 青葉区 310,471 23.1 1.6 12.5 64.4 214,886 都筑区 66.6 1.8 14.4 19.1 戸塚区 283,515 12.6 61.1 26.3 1.6 栄区 120,974 1.2 11.0 57.6 31.4 1.7 泉区 151,417 11.4 59.0 29.6 瀬谷区 121,616 28.9 1.7 11.2 60.0

■各区の人口動態



出所:横浜市統計情報ポータル「令和4年中の人口動態と令和5年1月1日現在の年齢別人口」、「外国人人口 令和5年1月」

横浜市立図書館一覧 [統計数値は、令和5年3月31日現在または令和4年度年間の数値]

館名	所在地	建物構造	延床面積	築年数	竣工年月日	開館年数	図書館資	資料	貸出利用者数	貸出冊数	入館者数	開館	併 設 施 設
ДД 7LI	/// IL 25	Æ 100 149 Æ	是不固很	***		- XX	図書	定期刊行物	*1	※2	/un n sx	日数	(身障者用駐車場は内数)
中央	〒220-0032 西区老松町 1	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上5階	m ² 21834.36	年 29	1994/1/31	年 29	1,759,747	種 1,489	294,386	914,895	830,402	日 344	公共駐車場:110台(有料)、身障者 用2台
鶴 見	〒230-0051 鶴見区鶴見中央 2-10-7	鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階 (図書館部分2・3階、地下)	1510.45	43	1979/12/1	43	108,692	84	116,079	389,366	234,949	342	鶴見保育園 駐車場:なし
神奈川	〒221-0063 神奈川区立町 20-1	鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階 (図書館部分1階)	1502.32	36	1987/4/1	35	118,782	83	148,259	562,172	302,578	344	老人福祉センター「うらしま荘」 駐車場:施設全体で21台、身障者用1台
中	〒231-0821 中区本牧原 16-1	鉄筋コンクリート造2階	1506.48	33	1989/4/15	33	112,381	131	83,654	276,464	229,567	344	本牧地区センター、知的障害者の通所施 設「オリブ工房」 駐車場:施設全体で身障者用2台
南	〒232-0067 南区弘明寺町 265-1	鉄筋コンクリート造4階 (図書館部分2・3階)	1790.34	30	1992/9/30	30	105,465	112	124,593	367,369	277,599	344	弘明寺公園プール、自転車駐輪場 駐車場:施設全体で身障者用1台
港南	〒234-0056 港南区野庭町 125	鉄筋コンクリート造2階	1503.36	36	1986/11/14	36	114,705	100	114,517	373,058	177,157	344	駐車場:身障者用1台
保土ケ谷	〒240-0006 保土ケ谷区星川 1-2-1	鉄筋コンクリート造3階 (図書館部分2・3階)	2477.02	41	1982/3/1	40	164,412	96	145,306	457,887	306,813	344	保土ケ谷公会堂 駐車場:施設全体で5台、身障者用1台
旭	〒241-0005 旭区白根 4-6-2	鉄筋コンクリート造2階	1507.80	37	1986/1/25	36	120,246	82	105,175	375,541	222,929	344	公共駐車場:39台(有料)、身障者用2台
磯 子	〒235-0016 磯子区磯子 3-5-1	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上7階 (図書館部分地下1階)	2891.66	23	1999/10/29	48	152,571	115	145,511	469,201	322,059	343	磯子区役所、磯子公会堂 区庁舎駐車場:施設全体で135台(有 料)、身障者用2台
金 沢	〒236-0021 金沢区泥亀 2-14-5	鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階 (図書館部分1・2階)	2121.25	43	1980/3/31	42	149,917	94	157,686	501,392	353,810	344	金沢地区センター 駐車場:施設全体で16台、身障者用1台
港北	〒222-0011 港北区菊名 6-18-10	鉄筋コンクリート造3階 (図書館部分1・2階)	2372.05	61	1961/11/30	42	173,164	129	212,281	695,908	432,279	343	菊名地区センター 駐車場:施設全体で身障者用1台
緑	〒226-0025 緑区十日市場町 825-1	鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階 (図書館部分1階、地下)	1987.38	28	1995/3/31	27	114,595	93	164,390	553,463	345,611	344	老人福祉センター「緑ほのぼの荘」、十日市 場地域ケアプラザ 駐車場:施設全体で8台、身障者用1台
山内	〒225-0011 青葉区あざみ野 2-3-2	鉄筋コンクリート造3階 (図書館部分2階)	2147.22	46	1976/12/25	45	192,004	122	211,772	680,449	440,252	344	山内地区センター 駐車場:施設全体で12台、身障者用1台
都 筑	〒224-0032 都筑区茅ケ崎中央 32-1	鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上6階 (図書館部分1階)	2396.42	28	1995/3/31	27	163,210	150	299,596	1,014,166	751,116	343	都筑区役所、都筑公会堂 区庁舎駐車場:施設全体で159台(有 料)、身障者用5台
戸塚	〒244-0003 戸塚区戸塚町 127	鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階 (図書館部分1・2階、地下)	3386.00	45	1978/4/1	44	188,493	103	230,349	660,770	551,737	344	戸塚地区センター、戸塚公会堂 駐車場:施設全体で34台、身障者用1台
栄	〒247-0014 栄区公田町 634-9	鉄筋コンクリート造2階	1518.15	34	1989/4/1	34	111,350	70	133,986	450,358	265,745	344	駐車場:15台、身障者用1台
泉	〒245-0016 泉区和泉町 6207-5	鉄筋コンクリート造2階	1520.31	34	1988/12/28	34	123,673	92	114,751	408,002	205,331	344	駐車場:5台、身障者用2台
瀬谷	〒246-0015 瀬谷区本郷 3-22-1	鉄筋コンクリート造2階 (一部中2階)	1547.94	38	1984/11/5	38	112,291	77	72,894	263,763	146,211	342	駐車場:10台、身障者用2台
		※1 貸出延長及び ※2 貸出延長によ			t	総計	4,085,698	3,222	2,875,185	9,414,224	6,396,145		

横浜市図書館ビジョン(素案)

横浜市立図書館の蔵書

- 蔵書数は約410万冊あり、圧倒的な蔵書量は他の自治体にはない大きな強みですが、一方で空間の限界という課題を抱えています。
- 資料を図書館内でいかに配架するのか、あるいは情報空間においても資料やその情報にいかに出会うのかということを考えていくことが重要です。
- 各図書館は、地域特性に合わせた蔵書や収集の工夫を行っていますが、区域、市域全体など複数の視点で、市民の多様な情報要求に応える幅広い蔵書を構築しつつ、特色ある蔵書の質を高めていくことが大切です。地域情報の収集にあたっては、図書館単独だけでなく、市民や団体等と連携していくことも必要です。

■横浜市立図書館の蔵書数(令和4年度)

図書	4,085,698冊
(内訳) 一般書	3,176,359冊
児童書	909,339冊
年間受入図書数	169,721冊
(内訳) 購入	130,036冊
寄贈等	39,685冊
雑誌(年間受入種)	2,783種
(内訳) 購入	1,783種
寄贈	1,000種
新聞(年間受入種)	439種
(内訳) 購入	281種
寄贈	158種

■横浜市立図書館資料収集方針

資料の収集範囲は、次のとおりとする。

- (1) 国内発行物については、一般的資料から専門的資料に至るまで各分野にわたって広範囲に収集する。
- (2) 海外資料もできるだけ幅広く収集するように努める。
- (3) 郷土資料および行政資料は、横浜に関連する地域資料を中心として収集し、あわせて本市周辺地域の資料収集にも努める。

■横浜市立図書館資料収集基準

以下5点を「収集の重点」としている。

(1)あらゆる世代の読書活動推進と課題解決を支える資料

(2)調査、研究 の基礎となる参 考図書 (3)横浜の都市 特性に関連する 分野についての 資料 (4)横浜市域とその周辺についての地域(郷土) 資料

(5)横浜の市政 に留意した資料

■書庫の状況

中央図書館の書庫には、市立図書館の開業以来100年間に収集した図書、雑誌や地域(郷土)資料など特色ある蔵書が保存されています。

毎年蔵書が増える中、保存機能を担う中央図書館の書庫は収蔵量の限界が迫っており、横浜市立図書館全体の課題として取り組んでいくことが必要です。

横浜市立図書館の利用状況

• 登録者数は約90万人であり、市の人口の23%に当たります。個人への年間貸出冊数は約1,150万冊、うち児童書は約420万冊で、個人への年間貸出冊数の約36%を児童書が占めています。年間貸出者数は約380万人です。団体への年間貸出冊数は約2.4万冊です。年間予約受付数は約350万冊、うち約92%がインターネットでの受付です。レファレンス受付件数は年間約24万件であり、月あたり2万件に当たる件数です。

■個人利用

登録者数	868,558人
うち児童数	121,913人
年間貸出冊数※	11,533,797冊
うち児童書貸出冊数※	4,163,183冊
年間貸出者数※	3,820,915人

[※]移動図書館、図書取次所での貸出、インターネットでの貸出延長を含む

■予約受付件数

予約受付冊数	3,459,249冊
うちインターネット受付冊数	3,179,815冊

■団体利用

利用団体数	156団体
貸出冊数	23,794⊞

■レファレンス件数

レファレンス件数	243,155件
うち所蔵調査	189,649件
うち事項調査	53,506件

出所:横浜市の図書館2023 (横浜市立図書館年報)

本のある市民利用施設等の状況

- 市立図書館のほかにも、各区には 地区センターやコミュニティハウスな どの市の市民利用施設等があり、 本のある図書コーナー等を設けて いる施設が多くあります。
- また、美術館や博物館などの施設にも図書室が設置されています。

■市の市民利用施設等

	施設	本のある施設数 (館) [※]	蔵書数 (冊)
	地区センター	75	710,133
	コミュニティハウス	119	646,065
	市民図書室	74	393,553
	地域ケアプラザ	63	29,413
各区の	市立保育所	52	22,169
身近な	地域子育て支援拠点	24	18,433
施設	老人福祉センター	11	14,926
	こどもログハウス	15	7,622
	国際交流ラウンジ	9	5,076
	市民活動支援センター	9	2,293
	区民文化センター	5	2,139
	横浜美術館 美術図書室	1	240,000
	横浜市歴史博物館 図書閲覧室	1	82,103
広域利	男女共同参画センター	3	69,377
用施設	ウィリング横浜 情報資料室	1	23,417
	横浜市会図書室	1	11,684
	横浜市社会教育コーナー	1	2,023
	合計	464	2,280,426
	(参考)市立図書館合計	18	4,085,698

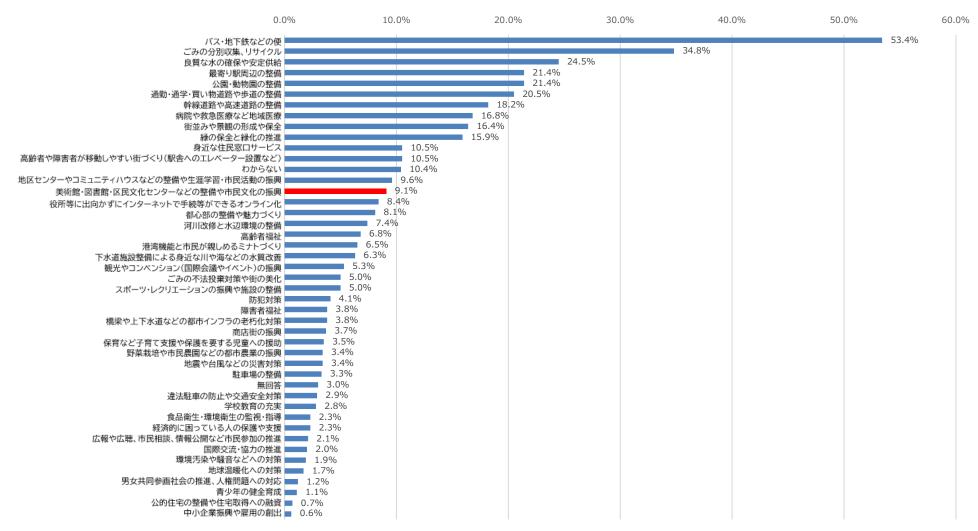
[※]本のある施設数:市民が蔵書を利用可能な施設の数を指す。複合施設で図書コーナー等を共有している場合は、一方の施設に掲載。

出所:横浜市教育委員会調べ

(参考) 横浜市民意識調査

• 横浜市民意識調査(実施期間:令和4年5月25日~6月16日)において、市政への満足度に関する設問では、「美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興」の満足度は9.1%となっています。交通の便や緑化などに比べると満足度は低く、改善の余地があると言えます。

市政への満足度



図書館行政の動向

■国の政策動向

- 図書館に関連する国の政策からは、図書館に期待される役割が多様化していることが読み取れます。社会教育だけではなく、観光や地域の課題解決など、様々なサービスを提供し地域に波及効果を生み出す必要性があり、それを実現するための人材育成に取り組む必要性が指摘されています。
- 技術革新とそれによる社会変化を踏まえた図書館サービスが志向されています。また、視覚障害者、障害児と保護者、来館が困難な子どもと 保護者などへの配慮について触れられています。

■他都市の政策動向

- 他都市の図書館に関する計画には、情報化・デジタル化の他、SDGsといった言葉が頻出しています。電子図書館の推進等など、図書館の 所蔵する資料のデジタル化、閲覧のオンライン化の潮流が読み取れます。
- 読書活動に限らず、文化活動や地域活動の支援、居場所の提供、子どもの学習支援などが施策やサービスに含まれており、図書館の役割が地域活動やまちづくりにまで広がっていることが分かります。

■図書館に関連する法律等

- 社会教育法
- 図書館法
- 図書館の設置及び運営上の望ましい基準
- これからの図書館像〈提言〉
- 社会教育法、図書館法、博物館法、地方教育行政の組織及び運営に 関する法律
- 学校図書館法
- 学校図書館図書標準
- 第6次「学校図書館図書 整備等5か年計画」
- 子どもの読書活動の推進に関する法律
- 第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」
- 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律
- 著作権法の一部を改正する法律
- 文字·活字文化振興法

■参考にした他都市の図書館に関する計画等

	· · -
名称	策定年
仙台市図書館振興計画2022	令和4年
さいたま市図書館ビジョン	令和3年
千葉市図書館ビジョン 2040	令和2年
第二次新潟市立図書館ビジョン	令和2年
なごやアクティブ・ライブラリー構想	平成29年
福岡市総合図書館新ビジョン	平成26年
第2次札幌市図書館ビジョン	平成24年

図書館の役割の変化

- 国際的には、デジタル化への対応はもちろんのこと、環境問題への対応、新たなスキル・能力を身につける教育(リカレント教育)の提供を行うことが、図書館の運営においても求められています。
- 国内においても、市民ニーズの高度化や、生活・価値観の多様化等を背景として、従来の貸出中心型の図書館から、まちづくり等の視点も 含め、様々な角度から市民の生活を豊かにする役割が求められています。
- 居場所の提供という観点では、サードプレイス(自宅や職場とは隔離された心地のよい第3の居場所、より創造的な交流が生まれる場所)という概念が注目されています。大人だけではなく子どもの居場所としての機能も求められています。
- 教育の観点では、不確実性の高い社会環境の中で、創造性や創発の必要性が高まっています。図書館は、文化や芸術に触れる場、様々な社会活動を行う場として市民の創造性の発揮に貢献していくことが求められます。

■国際図書館連盟(IFLA)が公表する図書館のトレンド(抜粋)

バーチャルの定着	・ 遠隔でのサービス提供が今後も標準であり続けるということは明らかであり、物理的なスペースや提供物の価値が問われている。・ デジタル・ツールは、個人向けサービスを提供するための新しい可能性を生み出し、より幅広いコンテンツに幅広い方法でアクセスすることを可能とする。
多様性の重視	• 公平性、多様性、包摂性の促進をより優先していくことが重要であり、様々なニーズを効果的に特定することを可能にするツールやスキルを開発し続けていく必要がある。
環境問題	災害に耐え、エネルギー効率化を促進するための図書館の新しい建築ガイドラインが重要になってくる。人々の行動改革や気候変動への対応を促進することも図書館の重要な役割である。
生涯学習者	 人々は訓練・再訓練を受ける必要があり、図書館は彼らの学習活動を促進していくべきである。 学習センターとしての図書館の役割が再確認され、図書館員がこれまで以上に教育者とみなされうることにもつながる。そのため、図書館員が適切な訓練とサポートを受けられるようにする必要がある。
深まる不平等	• テクノロジーはアクセスできる人に新たな可能性をもたらすが、アクセスできない人との格差は拡大する。図書館を最も必要とする人々が排除されることを許さぬよう、利用者にとっての障壁や偏見を生まないようにすることが大切である。

■子どもの居場所に関する調査結果

子どもの居場所の数(自室、家庭、学校、地域、職場、インターネット空間) の多さと自己認識の前向きさは、概ね相関している。



出所:図書館の今後を作る20のトレンド:IFLATrendReport2021(https://current.ndl.go.jp/e2507)(最終閲覧日2023年5月21日)、令和4年度版子ども・若者白書

横浜市図書館ビジョン(素案)



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

横浜市図書館ビジョン(素案)

令和5年12月発行

横浜市教育委員会事務局 教育政策推進課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

電話:045-671-3243 FAX:045-663-3118